（様式2（1））

事業所名:: 川西ケアセンターそよ風

作成日: 平成 28年 3月 31日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあいを、利用者の重度化が進む中、積極的に行うのは困難ではあるが、認知症カフェを利用したり、ボランティアとの交流を増やす。	認知症高齢者が、地域で安心して暮らせるグループホーム	地域住民の一員として、スーパーや買い物、老人会に入り、地域のお祭りや行事等に参加、認知症カフェの利用、日常的な地域との付き合いを積極的に行う。	12ヶ月
2	4	運営推進会議に、自治会代表、民生委員、市職員等の参加を、積極的に声かけ、ご家族・利用者様と意見交換し、理解や支援を得るように努める。(目標達成に至らなかったので、再度課題にあげる)	運営推進会議を2か月に1回開催する。	会議の日程・取り組む内容・課題を明確にし、早めに参加を呼びかける。 グループホーム(認知症高齢者)を理解して頂く。	6ヶ月
3	8	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、専門的知識の習得に努め、サービスの質を向上させる。	日常生活自立支援事業や成年後見制度を理解する。	認知症高齢者にとって、成年後見制度の必要性を理解し情報提供出来るよう、研修等に参加し専門的知識の習得に努める。	12ヶ月
4					月
5					月